

JMMA 第 22 回大会開催のご案内

多様化する社会とミュージアム —文化創造の原動力となるミュージアム—

◆趣 旨

様々な試練の中にある日本のミュージアムは、今後どの方向に向かうべきか、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京五輪）に向けて「国際化」「多様化」する社会の中にあつて何をすべきか、などが問われています。

本学会は、平成27年度からの3年間は、急激に多様化する社会状況に対応する「ミュージアムマネジメントの新しい在り方」について、「多様化する社会とミュージアム」を3年間のメインテーマに掲げています。平成27年度は「組織のマネジメント」をサブテーマとして、「博物館法の改正」や指定管理制度における「ミュージアムの組織マネジメント」などを取り上げてきました。平成28年度は北海道において大会を開催し、「人々とともにつくるミュージアムの文化的価値」をテーマに北海道の各博物館が創造する文化的価値に注目して、人々とミュージアムが共有できる価値を創造し、地域と共生するミュージアムマネジメントを考察しました。

今後2019年の京都ICOM大会（Museums as Cultural Hubs; The Future of Tradition）、2020年の東京五輪、国立アイヌ民族博物館の開館等に関連する文化ムーブメントを踏まえ、本年度は「多様化する社会とミュージアム-文化の原動力となるミュージアム-」を年間活動テーマとして、地域社会における文化の原動力としてのミュージアムの役割を考えます。学問分野の多様化に加え、来館者の多様化、ライフスタイルの多様化、観光、福祉、医療、地域活性化、ミュージアムの社会的使命の高度化など、ミュージアムを取り巻く環境は多様化しています。このような多様化する社会においてミュージアムマネジメントが地域文化の創成に果たすべき役割は大きく、将来に向けてその可能性を探ることが重要です。本学会としては、大会を契機に各研究部会・支部による研究活動をさらに発展させて、多様化する社会におけるミュージアムマネジメント理論の確立を目指していきます。

◆日 程：平成29年6月3日（土）～6月4日（日）

◆会 場：東京家政学院大学（千代田三番町キャンパス＝東京都千代田区三番町22番地）

◆主 催：日本ミュージアム・マネジメント学会（JMMA）

◆共 催：学校法人 東京家政学院

◆プログラム

【第1日目】6月3日（土）

13:00～13:40 総 会 司会：黒岩啓子理事
13:40～14:00 開会式 開会挨拶 水嶋英治会長
挨拶 沖吉和祐・東京家政学院理事長
大会趣旨説明 小川義和大会実行委員長
来賓祝辞

14:00～14:20 学会賞授与式

14:30～15:30 特別講演

「触文化展示の意義と方法 —多様な「from」を育む博物館—

講師：広瀬浩二郎（国立民族学博物館准教授）

15:30～17:30 シンポジウム（指定討論）

「多様化する社会とミュージアム —文化創造の原動力となるミュージアム—

パネリスト：大高幸（放送大学客員准教授）

可児光生（美濃加茂市民ミュージアム館長）

山内利秋（九州保健福祉大学准教授）

モデレータ：江水是仁（東海大学課程資格教育センター准教授）

18:00～19:30 情報交換会（東京家政学院大学ローズホールにて）

【第2日目】6月4日（日）※詳細は裏面

9:20～9:30 2日目開会のご挨拶

9:30～10:00 学会賞受賞記念講演

10:10～11:50 会員研究発表（午前の部5件）

11:50～12:00 ポスターセッション概要発表（6件）

13:00～14:00 ポスターセッション（6件）

14:10～14:50 会員研究発表（午後の部2件）

15:00～15:20 閉会式



《参加費のご案内》

* 大会 *

○会 員＝2,000円（個人・学生・法人全会員同額）

◇非会員＝一般3,000円、学生2,000円

※当日入会者は会員扱いになります。

* 情報交換会 *

一般4,000円、学生3,000円（会員・非会員同額）

～参加費のお振入は5/31まで受付中！～

◎当日連絡先：JMMA事務局 小川美江子

(TEL:080-2272-5686)

JMMA第22回大会 会員研究発表プログラム

会場		発表順	時間	発表者 / 所属 / テーマ		
階段教室	会員研究発表	1	10:10-10:30	菅井 薫	東京藝術大学美術学部 とびらプロジェクトコーディネータ	
				ミュージアムと高齢者福祉の境界を越える		
		2	10:30-10:50	亀井 修	独立行政法人国立科学博物館	
				科学技術系博物館の調査研究活動のマネージメント		
		3	10:50-11:10	小田嶋 祐希 比屋根 哲	岩手大学大学院農学研究科共生環境専攻 岩手大学連合農学研究科教授	
			地域の農林畜産業を切り口とした自然環境教育の可能性			
	4	11:10-11:30	竹村 寛行	東京大学大学院経済学研究科マネジメント専攻		
			「口コミの計量テキスト分析による水族館の集客要因の抽出」			
	5	11:30-11:50	原田(庄中)雅子1)・伊藤 彩子2) 細川 咲輝1)・濱村 伸治1)	1)独立行政法人国立科学博物館 2)帯広百年記念館		
			博物館職員を対象とした展示の新たな見方を促す研修プログラムの開発			
	ポスターセッション概要発表	①	11:50-12:00	小田嶋 祐希 西澤 真樹子	岩手大学大学院農学研究科共生環境専攻 認定特定非営利活動法人大阪自然史センター	
				教育普及活動による被災地の博物館支援とその効果		
		②		塚原正彦と 筑波学院大学 みんなのミュージアム研究会	筑波学院大学	
				地域の歴史資源を活用したミュージアムコミュニケーション 「なめかたのクニ たんけん風土記」絵本プロジェクトを事例に		
		③		齊藤 有里加	東京農工大学科学博物館	
		博物館と市民との協働活動におけるプロジェクト方式での企画設計				
④	島 絵里子・松本 英和 鈴木 真紀・岩崎 誠司	独立行政法人国立科学博物館 事業推進部 学習課				
		特別支援学校及び特別支援学級へ開かれた学習プログラムへ —国立科学博物館かほくスクールプログラムでの実践報告—				
⑤	吉川 美由紀	鹿児島市観光交流局ジオパーク推進室				
		新しい視点・価値観の提案 —多様化する社会を生きる人々に、私たちができること—				
⑥	竹村 寛行	東京大学大学院経済学研究科マネジメント専攻				
		首都圏の水族館のフィールド調査：今後の改善と新サービスの開発に向けて				
			12:00-13:00	*** ランチタイム ***		
1301教室		13:00-14:00	ポスターセッション(6件=①~⑥)			
階段教室	研究発表会	6	14:10-14:30	西嶋 昭二郎 緒方 泉	九州産業大学美術館	
				館種を越えた博物館連携教育プログラムによる参加者等の行動変容に関する研究		
7	14:30-14:50	小川 達也・赤尾 萌 神島 智美・渡邊 百合子 茂田 由起子	独立行政法人国立科学博物館 事業推進部 学習課			
		未就学世代の科学リテラシー涵養を目的とした展示室における利用者調査について				